

年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語 （普通科）

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 3 組

使用教科書： 現代の国語（第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	読	書						
1 学 期	<b>A 理解篇一思考力、判断力を培う</b> 「『生きもの』として生きる」（中村桂子） 「評論のしるべ ものの見方を変える」 <b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。  ・教材 教科書「『生きもの』として生きる」（中村桂子） 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	5
	<b>B 表現篇</b> 言語活動「話し方の工夫」 <b>【知識及び技能】</b> ・話し言葉と書き言葉の特徴、使い分けを理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・論理展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分の考えをスピーチしたり、それを聞いて、同意したり、質問できる。	・指導項目 発表を前提に各自教材を使用し資料を作成する。  ・教材 教科書「話し方の工夫」 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	4
	定期考査					○	○			1
<b>C 理解篇一思考力、判断力を培う</b> 比較文化「水の東西（山崎正和）」 <b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	・指導事項 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。  ・教材 教科書「水の東西」（山崎正和） 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を記述することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8	
<b>D 表現篇一伝える力を培う</b> 言語活動「待遇表現」 <b>【知識及び技能】</b> ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・敬語表現が選択される視点を理解し、相手や場に応じた選択ができるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分の考えをスピーチしたり、それを聞いて、同意したり、質問できる。	・指導項目 発表を前提に各自教材を使用し資料を作成する。  ・教材 教科書「待遇表現」 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8	
定期考査					○	○			1	



年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語 （福祉科）

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 4 組

使用教科書： 現代の国語（第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	文	読					
<b>A 理解篇一思考力、判断力を培う</b> 「『生きもの』として生きる」（中村桂子） 「評論のしるべ ものの見方を変える」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。 ・教材 教科書「『生きもの』として生きる」（中村桂子） 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	6
定期考査						○	○		1
<b>C 理解篇一思考力、判断力を培う</b> 比較文化 「水の東西（山崎正和）」 「『間』の感覚（高階秀爾）」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を記述する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・教材 教科書「水の東西」（山崎正和） 「『間』の感覚」（高階秀爾） 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を記述することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	10
定期考査						○	○		1

1 学期



年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語 （体育科）

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 5 組

使用教科書： 現代の国語（第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		語	文	読						
1 学 期	<b>A 理解篇一思考力、判断力を培う</b> 「『生きもの』として生きる」（中村桂子） 「評論のしるべ ものの見方を変える」 <b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための展開について考えさせる。  ・教材 教科書「『生きもの』として生きる」（中村桂子） 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	5
	<b>B 表現篇</b> 言語活動「話し方の工夫」 <b>【知識及び技能】</b> ・話し言葉と書き言葉の特徴、使い分けを理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・論理展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分の考えをスピーチしたり、それを聞いて、同意したり、質問できる。	・指導項目 発表を前提に各自教材を使用し資料を作成する。  ・教材 教科書「話し方の工夫」 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	4
	定期考査					○	○			1
<b>C 理解篇一思考力、判断力を培う</b> 比較文化「水の東西（山崎正和）」 <b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	・指導事項 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。  ・教材 教科書「水の東西」（山崎正和） 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を記述することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶことができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8	
<b>D 表現篇一伝える力を培う</b> 言語活動「待遇表現」 <b>【知識及び技能】</b> ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・敬語表現が選択される視点を理解し、相手や場に応じた選択ができるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分の考えをスピーチしたり、それを聞いて、同意したり、質問できる。	・指導項目 発表を前提に各自教材を使用し資料を作成する。  ・教材 教科書「待遇表現」 便覧 学習課題集 漢字ワーク プリント ・一人1台端末の活用	○			<b>【知識及び技能】</b> ・常用漢字を文や文章の中で活用できる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況	○	○	○	8	
定期考査					○	○			1	



高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化 （普通科）

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～3組  
 教科担当者：（1組：植村）（2組：植村）（3組：植村）  
 使用教科書：（高等学校 言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。  
 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数			
		話・聞	書	読								
A 単元『児のそら寝』 【知識及び技能】 ・作品中の文語のきまりを理解する。 ・作中の古典用語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文に対して偏見を持たず、能動的に知識を取り込む姿勢を涵養する。	・指導事項 本単元では、古典の文章に慣れ、そのおもしろさを知り、今後の学習につなげられるようにすることを第一とする。比較的平易な説話の読解を通して、内容や構成、展開を捉える方法を身につけさせる。 ・教材 教科書『児のそら寝』 便覧 学習課題集 プリント ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・作中の歴史的仮名遣いを理解している。 ・作中の古典単語を理解している。 ・古文の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や展開を捉えている。 ・登場人物の行動心情を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の特徴を理解し意義を見出して活動に取り組んでいる。				○	○	○	5
B 単元『古文を読むために1』 【知識及び技能】 ・文語のきまりを理解する。 ・文字の変化について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各時の学びについて振り返ることができている。	・指導事項 歴史的仮名遣いについて学ぶ。 ・教材 教科書『古文を読むために1』 便覧 学習課題集 プリント ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いについて理解しているか。 ・古文の仮名を理解しているか。 ・古語と現代語について理解しているか。 ・口語訳の留意について理解しているか。 ・古典辞書の引き方について理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。				○			7
1 C 定期考査									○	○		1
1 C 単元『絵仏師良秀』 【知識及び技能】 ・作品中の文語のきまりを理解する。 ・作中の古典用語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・表題に応じて調査する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文に対して偏見を持たず、能動的に知識を取り込む姿勢を涵養する。	・指導事項 本単元では、古典の文章に慣れ、読解を通して、内容や構成、展開を捉える方法を身につけさせる。現代の小説との比較させることで興味意欲を高めさせる。 ・教材 教科書『絵仏師良秀』 便覧 学習課題集 プリント ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・作中の歴史的仮名遣いを理解している。 ・作中の古典単語を理解している。 ・古文作品の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や展開を捉えている。 ・登場人物の行動心情を捉えている。 ・読み比べにより、古文と現代との違いについて理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文の特徴を理解し意義を見出して活動に取り組んでいる。				○	○	○	6
1 D 単元『伝統と文化』 【知識及び技能】 ・詩の種類について理解する。 ・詩の背景を学ぶ。 ・作者について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に疑問や興味をまとめることができる。	・指導事項 詩の形態について学び、その鑑賞・解釈の方法を理解させる。 ・教材 教科書『人形瑠璃文楽』『祭の笛』 プリント ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 ・詩形について理解している。 ・背景について説明できる。 ・作者について説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品内のものの方、感じ方考え方を捉え内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・授業時のプリント（ワークシート）の取り組み状況。				○	○	○	10
1 定期考査									○	○		1



高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化 （体育科）

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 5組

教科担当者：（5組：松田）

使用教科書：（高等学校 言語文化（第一学習社））

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
A 単元 『児のそら寝』 【知識及び技能】 ・作品中の文語のきまりを理解する。 ・作中の古典用語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文に対して偏見を持たず、能動的に知識を取り込む姿勢を涵養する。	・指導事項 本単元では、古典の文章に慣れ、そのおもしろさを知り、今後の学習につなげられるようにすることを第一とする。比較的平易な説話の読解を通して、内容や構成、展開を捉える方法を身につけさせる。 ・教材 教科書『児のそら寝』 便覧 学習課題集 プリント ・一人1台端末の活用			○						6
B 単元 『古文を読むために1』 【知識及び技能】 ・文語のきまりを理解する。 ・文字の変化について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 各時の学びについて振り返ることができている。	・指導事項 歴史的仮名遣いについて学ぶ。 ・教材 教科書『古文を読むために1』 便覧 学習課題集 プリント ・一人1台端末の活用			○						4
定期考査							○	○		1
1 学期 C 単元 『絵仏師良秀』 【知識及び技能】 ・作品中の文語のきまりを理解する。 ・作中の古典用語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・表題に応じて調査する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文に対して偏見を持たず、能動的に知識を取り込む姿勢を涵養する。	・指導事項 本単元では、古典の文章に慣れ、読解を通して、内容や構成、展開を捉える方法を身につけさせる。現代の小説との比較させることで興味意欲を高めさせる。 ・教材 教科書『絵仏師良秀』 便覧 学習課題集 プリント ・一人1台端末の活用			○						7
D 単元 『伝統と文化』 【知識及び技能】 ・詩の種類について理解する。 ・詩の背景を学ぶ。 ・作者について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に疑問や興味をまとめることができる。	・指導事項 詩の形態について学び、その鑑賞・解釈の方法を理解させる。 ・教材 教科書『人形瑠璃文楽』『祭の笛』 プリント ・一人1台端末の活用			○						4
定期考査							○	○		1

E	<p>単元『徒然草』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品中の文語のきまりを理解する。</li> <li>・作中の古典用語を理解する。</li> <li>・作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類をふまえて内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古文に対して偏見を持たず、能動的に知識を取り込む姿勢を涵養する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 本単元では、作者の感覚や興味が直接的、具体的に叙述された随筆を扱う。ものの見方・考え方を理解させる。作者の対象への着眼点や観察力の鋭さを味わわせる。</li> <li>・教材 教科書『徒然草』 便覧 学習課題集 プリント 一人1台端末の活用</li> </ul>				○	○	○	7	
	F	<p>単元『古典を読むために2』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文語のきまりを理解する。</li> <li>・文字の変化について理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各時の学びについて振り返ることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 品詞と活用について学ぶ。</li> <li>・教材 教科書『古文を読むために2』 便覧 学習課題集 プリント 一人1台端末の活用</li> </ul>				○			7
2 学 期	定期考査							○	○	1
	G	<p>単元『古典を読むために3』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・文語のきまりを理解する。</li> <li>・文字の変化について理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各時の学びについて振り返ることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 動詞について学ぶ。</li> <li>・教材 教科書『古文を読むために3』 便覧 学習課題集 プリント 一人1台端末の活用</li> </ul>				○			7
	H	<p>単元『伝統と文化』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぶ。</li> <li>・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する方法を学ぶ。</li> <li>我が国の伝統文化に関する題材を選んで筆に書き表す方法を学ぶ。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>能動的に疑問や興味をまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 わが国の伝統芸能・行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。</li> <li>・教材 教科書『人形瑠璃文楽』『祭の笛』 プリント 一人1台端末の活用</li> </ul>				○	○	○	10
定期考査							○	○	1	
3 学 期	I	<p>単元『訓読に親しむ』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文訓読きまりを理解する。</li> <li>・漢文の構造を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文に対して偏見を持たず、能動的に知識を取り込む姿勢を涵養する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 本単元では、漢文の文章に慣れ、そのおもしろさを知り、今後の学習につなげられるようにすることを第一とする。</li> <li>・教材 教科書『訓読に親しむ一～五』『漢文を読むために1～5』 便覧 学習課題集 プリント 一人1台端末の活用</li> </ul>				○			13
	定期考査							○	○	1
									合計	70

年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～3組

使用教科書：「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」、「新詳高等地図」

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

諸地域の多様

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>第1章 地図とGISの活用</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。</li> <li>経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につけ、球面として成り立つ世界認識をもつ。</li> <li>図法によって異なる世界地図の特色を捉え、スケール、視点、図法などを変化させながら、世界における日本の位置を理解する。</li> <li>グローバルな立場から日本の領域を理解するために、国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。</li> <li>グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために、世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。</li> <li>交通・通信、貿易・物流、観光の視点から、人やもの、情報、資本・サービスの移動のようすについて、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。</li> <li>グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために、資料を根拠として示し、身近な課題解決のための多面的・多角的な考察を行う。</li> <li>身近な地図を集め、それらの地図の特徴を捉え、地図情報の有用性を理解する。</li> <li>地図情報を活用する方法として、紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し、地理院地図や地形図を通して認識する。</li> <li>GISが日常生活にも利用されている実例を捉え、大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解する。</li> <li>GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。</li> </ul>	<b>第1節 球面上の世界</b> 地球上で位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。  球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。  球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。	○				3
	<b>第2節 日本の位置と領域</b> 世界地図の主な図法と利用について理解し、国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がり理解できたか。  世界地図を図法の違いにより使い分けられること、日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。  様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくこと、日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。	○		○		
	<b>第3節 国内や国家間の結びつき</b> 人・モノ・情報の結びつきに関する知識や、統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。主題に対して適切な統計地図を作成できたか。  複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。  統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	○			○	6
	<b>第4節 暮らしのなかの地図とGIS</b> GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。地理院地図などインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。  身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。  身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	○		○		
<b>第2章 地理的環境の特色</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の大地形の広がりがプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し、地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。</li> <li>河川、海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり、およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、写真や地形図などの資料を通して考える。</li> </ul>	<b>第1節 地形と生活文化</b> 地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴、および地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。  世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較し、また生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。  地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	○				4
				○		

<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。</li> <li>降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え、植生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。</li> <li>熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか、どのような生活の工夫があるのか、写真や雨温図などの資料から考える。</li> </ul>	第2節 気候と生活文化	<p>大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみ、各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。</p> <p>世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していること、気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を、資料をもとに考察できたか。</p> <p>雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。</p>	○				5	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え、世界スケールにおける第1次産業、第2次産業、第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。</li> <li>産業の発達と生活文化がどのようにかわるのか、産業はどのように変化してきているのか、主題図などの資料を通じて理解を深める。</li> </ul>	第3節 産業と生活文化	<p>世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。</p> <p>自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。</p> <p>身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。</p>	○		○		4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界でみられる生活文化の多様性について、宗教、言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。</li> <li>世界の少数民族、移民、難民の問題を捉えながら、マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し、自他の文化を尊重する社会の実現を考える。</li> </ul>	第4節 宗教・言語と生活文化	<p>世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。</p> <p>生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、また世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え、考察できたか。</p> <p>世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究できたか。</p>	○		○	
<b>第3章 世界各地の生活文化</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済システムの変化に焦点を当て、東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて捉える。</li> <li>特に世界や日本、中国、韓国の3か国とのつながりから両国の経済発展の発達過程について理解し、経済発展の結果として起きている様々な問題について生活文化と対応させながら考える。</li> </ul>	第1節 経済発展と生活文化の変化～東アジア	<p>図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え、課題を整理できたか。中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。</p> <p>中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について、主題図などの資料をもとに考察できたか。日中韓の連携を学習内容から見出し、新しい関係づくりを捉えることができたか。</p> <p>身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題について、日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究できたか。</p>	○		○		4	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>多民族社会と地域統合に焦点を当て、様々な言語や宗教をもつ東南アジア諸国の人々の生活文化にはどのような特色がみられるのか、主題図や写真などの資料をもとに理解する。</li> <li>特に仏教、イスラム教、キリスト教の各文化圏における生活文化の多様性や多言語・多民族社会の様子、また豊かな資源を背景に経済発展を遂げるASEAN諸国の現状と課題について考える。</li> </ul>	第2節 宗教の多様性と生活文化～ASEAN諸国	<p>地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴、および地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。</p> <p>世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較し、また生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。</p> <p>地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。</p>	○		○		5
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源に焦点を当て、地形、気候などの自然環境を捉えながら、水資源と宗教、農業、文化や産業の成立の関わりを主題図やグラフなどの資料を通じて理解する。</li> <li>経済成長を背景とした水資源の課題を周辺国とのつながりから考える。</li> </ul>	第3節 水の恵みと生活文化～南アジア	<p>図版や写真から自然環境を捉え、生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。水の恵みを受けた農業と生活文化の関わりについて理解できたか。</p> <p>インドを例に自然環境と農業のつながりを資料をもとに考察できたか。経済発展による生活文化の変化と、それに伴う水問題の課題について考察できたか。</p> <p>生活文化と産業の進展の関連や市場経済の進展による自然環境への影響など、地域の課題を多角的、多面的に探究できたか。</p>	○		○	
<ul style="list-style-type: none"> <li>イスラームに焦点を当て、気候条件、宗派の違い、聖地メッカからの距離、エネルギー資源の有無などを基盤とした経済水準の違いについて理解する。</li> <li>ムスリムの生活文化に差異をもたらしている要因を主題図や写真などの資料をもとに考える。</li> <li>社会問題の例として、パレスチナやエルサレムの問題、少数民族の問題を民族・言語の分布から理解する。</li> </ul>	第4節 イスラーム社会の多様性と生活文化～イスラーム圏	<p>図版や写真からイスラームの特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応、またイスラーム圏の課題を日本との関連をふまえて整理できたか。豊富なエネルギー資源による恵みと生活文化の変化を理解できたか。</p> <p>写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで、写真と地図を組み合わせて考察し、イスラーム圏の生活文化を説明できたか。地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できたか。</p> <p>イスラーム圏の生活文化を意欲的に調べ、圏内の共通点や相違点を探究できたか。課題がどのように日本と関わっているかを考え、日本や自身が取り組むべきことは何かを追究できたか。</p>	○		○		4	

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境と生活文化の対応とその多様性に焦点を当て、モノカルチャー経済の構造は残しながらも、多様性に富む自然環境や食文化をもち、資源開発などを背景とした近年の経済成長について主題図や写真などの資料を通じて理解する。</li> <li>・経済成長や開発などを背景としたアフリカの課題を自然環境と生活文化の関わりから考える。</li> </ul>	第5節 多様な気候と生活文化 ～アフリカ	<p>図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。生活文化を地形や気候と関連づけ、農業と食文化の関連について理解できたか。</p> <p>地形、気候、歴史的背景とともに生活文化の多様性を考察できたか。経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえ、アフリカの課題について捉え、課題やその対策を説明できたか。</p> <p>食文化や生活の工夫を調べ、多様な自然環境の広がりとの対応を見出し、意欲的に探究できたか。アフリカの課題をまとめ、SDGsをふまえた課題解決策を考えたり調べたりできたか。</p>	○				3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴やその歴史的背景を捉え、気候、言語・宗教の分布などを関連させながら主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。</li> <li>・地域統合の長所とともにイギリスのEU離脱や加盟各国の移民排斥の動きの強まりなどの課題を整理する。</li> <li>・地域間格差が生じている現状を捉え、これからのヨーロッパのよりよい社会を目指して課題について考える。</li> </ul>	第6節 経済統合による 生活文化の変化 ～EUと周辺諸国	<p>図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え、自然環境や言語、宗教と関連づけて整理できたか。産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。言語や宗派の違いを乗り越えEUが統合する背景を理解できたか。</p> <p>ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について、主題図をもとに考察できたか。EUへの加盟国と離脱する国があることをふまえ、EU統合に伴う生活への影響を考察し、今後の課題について資料をもとに協議できたか。</p> <p>農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。</p>	○		○		3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒冷な自然環境に焦点を当て、ロシアを例に主題図やグラフなどの資料をもとに気候に制約を受ける農業など、自然環境と人々の生活との対応を理解する。</li> <li>・豊富な鉱物資源を背景にしたヨーロッパ諸国や日本など東アジアとの結びつきや近年の開発による自然環境への影響を考える。</li> </ul>	第7節 寒冷な気候と生活文化 ～ロシア	<p>図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え、生活文化や産業の発展と関連づけて整理できたか。周辺国との関連から産業の発展を捉え、経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。</p> <p>寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え、自然環境の変化による影響を協議できたか。</p> <p>寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。</p>	○			○	3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、主題図や写真などの資料を通じて、民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。</li> <li>・企業的農業の発達とアメリカ合衆国の外食産業やICT産業などの多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えている現状を捉える。</li> <li>・アメリカ合衆国の貿易の問題についてグローバルな視点で考える。</li> </ul>	第8節 グローバル化による 生活文化の変化 ～アメリカ・カナダ	<p>図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。</p> <p>グローバルな観点からアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え、世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。産業や世界の貿易体制の変化を考察し、それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。</p> <p>アメリカの社会経済システムを農業、工業などの観点から多面的、多角的に捉え、世界への影響を意欲的に探究できたか。アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え、世界への影響をふまえながら追究できたか。</p>	○		○		4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発に焦点を当て、ラテンアメリカで様々な人びとが生活している理由やプランテーションをはじめ農業や鉱業などの産業の多様性がみられる理由について、主題図やグラフなどの資料をもとに多様な自然環境や植民地時代の開発の影響、そして近年の社会経済システムの変化から捉える。</li> <li>・鉱工業が発展していく中で生じている貧富の差の現状を捉え、その解決に向けた取り組みを考える。</li> </ul>	第9節 土地の開発による生活 文化 の形成～ラテンアメリカ	<p>図版や写真から開発の背景を捉え、開発と自然環境、生活文化、産業との関わりを整理できたか。資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。</p> <p>図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について、課題とともに協議できたか。</p> <p>自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究できたか。都市問題や経済問題、環境問題などについて意欲的に調べ、その要因と解決について協議できたか。</p>	○		○		3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発に焦点を当て、オーストラリアとニュージーランドの自然環境の違いを比較し、主題図や写真などの資料から植民の歴史とそこに展開する産業を捉え、両国の生活文化の違いを理解する。</li> <li>・オーストラリアとニュージーランドの生活文化の歴史的背景や現状と将来について、周辺国とのつながりや多文化社会と関連づけて考える。</li> </ul>	第10節 植民と移民による生活 文化 の形成～オセアニア	<p>図版や写真から農業と鉱業の観点からみた開発の背景を比較しながら整理できたか。周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。</p> <p>2つの国の開発の背景を比較し、共通点と相違点を考察できたか。開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。</p> <p>2つの国を比較して開発の背景を捉え、植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。2つの国の課題を整理し、貿易や移民の変化を追究できたか。</p>	○		○		2	

		第3章 地球的課題と国際協力						
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起きている環境問題は、一国だけで対応できるものではないこと、多面的・多角的に考えていくことが必要であること、自らとかわる問題であることをSDGsをふまえて認識する。</li> <li>・深刻な地球環境問題を生じている大気汚染、森林減少、砂漠化、気候変動について事例をあげて捉え、それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。</li> </ul>	第1節 地球環境問題	<p>持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できたか。環境問題の現状を捉え、原因や影響を図解して整理できたか。</p> <p>世界のどこで、どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。SDGsの目標をふまえ、海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。</p> <p>地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。</p>	○				2
		第2節 資源・エネルギー問題	<p>主題図から資源の分布が偏在していることを理解できたか。限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。</p> <p>主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGsの目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。</p> <p>日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究できたか。</p>	○		○		2
		第3節 人口・食料問題	<p>世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し、人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができたか。世界の食料問題を主題図などから現状を認識し、その自然的、社会的な背景を理解できたか。</p> <p>世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ、日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し、その背景とSDGsの目標をふまえ、とくに栄養不足人口が多いサブサハラを例として対策を協議できたか。</p> <p>世界や主要国の人口の推移を捉え、他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できたか。人口問題と食料問題をそれぞれ捉えながら、両者のつながりを図表などを用いて意欲的に整理し、国際社会の一員として取り組む国際協力を具体的に追究できたか。</p>	○				2
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界では都市に人口が集まる現象がみられることを主題図やグラフから読み取り、人口が集まる都市内部の構造を景観をふまえて理解する。</li> <li>・途上国の大都市を中心に人口集中に伴う問題が生じていることを捉え、問題の要因を理解しながら、都市の問題の改善を目指した都市計画を取り上げ、SDGsと関連づけ都市問題の解決策を考える。</li> </ul>	第4節 居住・都市問題	<p>世界の視野で都市人口率の増加を捉え、都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえて都市の構造を理解できたか。人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できたか。</p> <p>都市への人口集中を主題図やグラフから捉え、都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。人口集中と都市問題の発生、途上国と先進国の都市問題を通じ、人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し、SDGsの目標とともに解決の方策や課題を提案できたか。</p> <p>世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え、都市問題の事例をもとに多角的、多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できたか。途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に、国際協力の立場で課題解決に結びつけることができたか。</p>	○				2
		第4章 生活圏の諸課題						
		第1節 日本の自然災害と防災	<p>日本の自然環境の特徴と生活文化との関わり、日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できたか。地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。</p> <p>日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から、また日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議できたか。</p> <p>自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できたか。</p>	○				2
	第2節 生活圏の諸課題と地域調査	<p>地域的な課題についての調査法、統計資料を収集して、それを主題図に表現する方法、調査結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につけることができたか。</p> <p>調査で得られた結果を、主題図や表などに整理できたか。得られた資料を根拠にして、地域の特徴や課題を見つけ、まちづくりのプランを構想できたか。</p> <p>身近な地域に様々な課題があることを見出し、意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成できたか。主題図などの調査結果を根拠にして、意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し、発表できたか。</p>	○		○		2	
	合計							
	78							

野津田 高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： 高等学校 新公共（第一学習社）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 基本的な知識の習得のほか、現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりになる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察したり、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1編 公共の扉</p> <p>第1章「公共的な空間をつくる私たち」</p> <p>第2章「公共的な空間における人間としてのあり方生き方」</p> <p>第3章「公共的な空間における基本的原理」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解する。</li> <li>・諸資料から必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的に考察し表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>選択・判断の手がかりとなる考え方も活用しながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> <p>(定期考査)</p>	<p>・指導事項</p> <p>第1編</p> <p>第1章「公共的な空間をつくる私たち」</p> <p>①社会に生きる私たち</p> <p>②個人の尊厳と自主・自律</p> <p>③多様性と共通性</p> <p>④伝統文化とのかかわり</p> <p>⑤自立した主体をめざして</p> <p>第2章「公共的な空間における人間としてのあり方生き方」</p> <p>①人間と社会のあり方についての見方・考え方</p> <p>第3章「公共的な空間における基本的原理」</p> <p>①人間の尊厳と平等、個人の尊重</p> <p>②民主主義と法の支配</p> <p>③自由・権利と責任・義務</p> <p>④日本国憲法に生きる基本原理</p> <p>・教材</p> <p>教科書、プリント</p> <p>・一人1台端末の利用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>自らが自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結びつくことを理解している。</p> <p>諸資料からよりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>				9
<p>第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</p> <p>第1章 法的な主体となる私たち</p> <p>主題1 法や規範の意義と役割</p> <p>主題2 契約と消費者の権利・責任</p> <p>主題3 司法参加の意義</p> <p>第2章 政治的な主体となる私たち</p> <p>主題4 政治参加と公正な世論形成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</li> <li>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul> <p>(定期考査)</p>	<p>・指導事項</p> <p>第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</p> <p>第1章 法的な主体となる私たち</p> <p>主題1</p> <p>①私たちが法</p> <p>②法と基本的人権</p> <p>③自由に生きる権利と法・規範</p> <p>④平等に生きる権利と法・規範</p> <p>⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範</p> <p>⑥法をよりよいものにするための権利</p> <p>主題2</p> <p>①さまざまな契約と法</p> <p>②消費者の権利と責任</p> <p>主題3</p> <p>①裁判所と私法</p> <p>②国民の司法参加</p> <p>第2章 政治的な主体となる私たち</p> <p>主題4</p> <p>①私たちと選挙</p> <p>②選挙の現状と課題</p> <p>③世論の形成と政治参加</p> <p>④国会と立法</p> <p>⑤内閣と行政</p> <p>⑥地方自治と住民福祉</p> <p>・教材</p> <p>教科書、プリント</p> <p>・一人1台端末の利用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>法や規範の意義及び役割、契約と消費者の権利・責任、司法参加の意義、政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>中学校で学んだ知識や、他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>				1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</li> <li>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul> <p>(定期考査)</p>	<p>・指導事項</p> <p>第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</p> <p>第1章 法的な主体となる私たち</p> <p>主題1</p> <p>①私たちが法</p> <p>②法と基本的人権</p> <p>③自由に生きる権利と法・規範</p> <p>④平等に生きる権利と法・規範</p> <p>⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範</p> <p>⑥法をよりよいものにするための権利</p> <p>主題2</p> <p>①さまざまな契約と法</p> <p>②消費者の権利と責任</p> <p>主題3</p> <p>①裁判所と私法</p> <p>②国民の司法参加</p> <p>第2章 政治的な主体となる私たち</p> <p>主題4</p> <p>①私たちと選挙</p> <p>②選挙の現状と課題</p> <p>③世論の形成と政治参加</p> <p>④国会と立法</p> <p>⑤内閣と行政</p> <p>⑥地方自治と住民福祉</p> <p>・教材</p> <p>教科書、プリント</p> <p>・一人1台端末の利用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>法や規範の意義及び役割、契約と消費者の権利・責任、司法参加の意義、政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>中学校で学んだ知識や、他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>				16

2 学 期	<p>主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割</p> <p>(定期考査)</p> <p>第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界</p> <p>【知識・技能】 ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及び活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ・諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> <p>(定期考査)</p>	<p>・指導事項 主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和 主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争</p> <p>第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 ①私たちが経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題 主題9 社会の変化と職業観 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業 主題10 市場経済の機能と限界 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉</p> <p>・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 国際社会と国家主権、日本の安全保障と防衛、国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>【知識・技能】 雇用と労働問題、社会の変化と職業観、市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 他教科で学んだ知識もふまえて、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>(定期考査)</p>			○	○		1
			○	○	○	16	
3 学 期	<p>主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化</p> <p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解する。 【思考・判断・表現】 これまでの学習を関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関する現代の諸課題を、主体的に解決しようとする。</p> <p>(定期考査)</p>	<p>・指導事項 主題11 金融のはたらき ①金融の意義と役割 ②金融のいま 主題12 財政の役割と社会保障 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障 主題13 経済のグローバル化 ①国際分業と貿易 ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き ④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合 ⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題 ⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから</p> <p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題</p> <p>・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・金融のはたらき、財政の役割と社会保障、経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・課題解決に向けて事実を基に協働して考察し、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済のグローバル化、地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関する現代の諸課題を、主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	12
				○	○		
						合計	
						70	

年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：4 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 3 組

使用教科書：最新 数学 I（数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>3章：三角比 1節：三角比</p> <p>【知識及び技能】 鋭角の場合についての正弦、余弦、正接の意味を理解し三角形の辺と角との間の基本的な関係として平面図形の計量などに活用できること。</p> <p>【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察すること。</p>	<p>・指導事項 1 三角形 2 三角比 3 三角比の利用 4 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 1 三角比の拡張</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 サイン・コサイン・タンジェントの意味を理解し鋭角の三角比の相互関係について理解できる。鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との間の関係や平面図形の計量などに活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 三角比を身近な事象とも関連付けてそれらの意味を理解でき、その有用性を認識することができる。</p>	○	○	○	26
<p>1学期 定期考査</p> <p>2節三角比の応用</p> <p>1章：数と式 1節 整式</p> <p>【知識及び技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理について正しく理解する。文字を用いた計算について理解を深め、整式の加法・乗法について理解を深める。</p> <p>【思考・判断・表現】 三角比の相互関係を用いて残りの三角比を求める計算を理解し、正弦定理や余弦定理への理解を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 三角形の面積を求めたり、空間図形の考察に活用できるようにする。因数分解を効率に行うための工夫</p>	<p>・指導事項 2節：三角比への応用 2 三角形の面積 3 正弦定理 4 余弦定理 5 正弦定理と余弦定理の利用</p> <p>1章：数と式 1節 整式 1 文字を含んだ計算 2 整式 3 整式の加法減法 4 整式の乗法 5 乗法公式による展開 6 因数分解</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理を活用し辺の長さや角の大きさを求めることができる。多項式を理解し、乗法公式や因数分解の公式が活用できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 1つの三角比の値から残りの三角比を相互関係を利用してもとめることができる。同類項をまとめ、かっこを外したりと整式の加法減法を考察できる。文字の置き換えなどを工夫して多面的にとらえることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式を変形することができる。数の計算に乗法公式などが活用できることに関心を持ち、公式の活用をしようとする。</p>	○	○	○	29
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>1章：数と式 2節：実数</p> <p>【知識及び技能】 数を拡張することの意義を理解し、実数の疑念や平方根を含む計算の基本を理解できる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>	<p>・指導事項 2節 実数 1 平方根とその計算 2 実数 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 1次不等式 5 連立不等式 6 不等式の応用</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 数を実数まで拡張することの意義を理解し、<math>\sqrt{\quad}</math>を含む計算ができる。また、分母の有理化ができる。数字の分類ができる。不等式で数量の計量を表すことができる。1次不等式や連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表されることを理解し、問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的の応じて適切に変形したりすることができる。不等式の性質と方程式の性質を対比して、不等式を解くことを考察できる。日常生活の事象などを数学的にとらえ、活用できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。</p>	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次関数の値の変化</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフの関係について、コンピュータを用いてグラフを書くなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数を利用した数学的活動を通して、その有用性を認識すること。</p>	<p>・指導事項 1節 関数とグラフ 1 1次関数とそのグラフ 2 2次関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと方程式 3 2次関数のグラフと2次方程式</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。2次関数のグラフから2次方程式の解を導くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、また、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>4章 集合と論証 1節 集合と論証</p> <p>5章 データの分析 1節 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 集合における基本的な概念を理解する。命題に関する基本的な概念を理解し、基本的な命題の証明ができるようにする。統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できること。</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察するとともに、対偶を用いた証明もできるようにする。データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 集合で表されることを見つけ、積極的に活用を図る姿勢を作る。身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、考察した意見を述べるなどの数学的活動を通して、その有用性を認識</p>	<p>4章 集合と論証 1節 集合と論証 1 集合と要素 2 命題 3 いろいろな証明法 5章 データの分析 1節 データの分析</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 集合に関する基本的な概念が理解できる。和集合・共通部分を求めることができる。命題における基本的な概念を理解し、必要十分について理解をする。命題の逆・対偶を理解できる。与えられたデータを適切に表すことができる。代表値・四分位範囲、分散といった用語</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察できる。対偶などを利用して簡単な命題を証明することができる。データの散らばり具合を数値化することができる。具体的なデータを元に表を活用するなどして相関関係を求める方法を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象を集合を用いて表すことを理解しようとしている。身の回りの話題から、命題を考察して必要条件や十分条件を積極的に調べる。身の回りのいろいろなデータを探し、代表値や散らばりを調べてデータの分析をしようとしている。</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
						合計	140

年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

数学

科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 4 組～ 5 組

使用教科書： 最新数学 I（数研出版）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
<p>第4章：図形と計量 第1節：三角比</p> <p>【知識及び技能】 鋭角の場合についての正弦、余弦、正接の意味を理解し三角形の辺と角との間の基本的な関係として平面図形の計量などに活用できること。</p> <p>【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察すること。</p>	<p>・指導事項 第1節：三角比 1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 サイン・コサイン・タンジェントの意味を理解し鋭角の三角比の相互関係について理解できる。鋭角の三角比を用いて鈍角の三角比を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、三角形の辺と角との間の関係や平面図形の計量などに活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 三角比を身近な事象とも関連付けてそれらの意味を理解でき、その有用性を認識することができる。</p>	○	○	○	20
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>1 学 期</p> <p>第2節：正弦定理・余弦定理 第1章：数と式 第1節 数と式</p> <p>【知識及び技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理について正しく理解する。 文字を用いた計算について理解を深め、整式の加法・乗法について理解を深める。</p> <p>【思考・判断・表現】 三角比の相互関係を用いて残りの三角比を求める計算を理解し、正弦定理や余弦定理への理解を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 三角形の面積を求めたり、空間図形の考察に活用できるようにする。 因数分解を効率に行うための工夫</p>	<p>・指導事項 第2節：正弦定理・余弦定理 6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量</p> <p>第1節：数と式 1. 多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解 6. いろいろな因数分解</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 三角比を鈍角まで拡張した意義を理解し、正弦定理、余弦定理を活用し辺の長さや角の大きさを求めることができる。 多項式を理解し、乗法公式や因数分解の公式が活用できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 1つの三角比の値から残りの三角比を相互関係を利用してもとめることができる。 同類項をまとめ、かっこを外したりと整式の加法減法を考察できる。文字の置き換えなどを工夫して多面的にとらえることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式を変形することができる。 数の計算に乗法公式などが活用できることに関心を持ち、公式の活用をしようとする。</p>	○	○	○	21
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>第1章：数と式</p> <p>第2節：実数</p> <p>【知識及び技能】 数を拡張することの意義を理解し、実数の疑念や平方根を含む計算の基本を理解できる。不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p>	<p>・指導事項</p> <p>第2節：実数</p> <p>7. 実数</p> <p>8. 根号を含む式の計算</p> <p>第3節：1次不等式</p> <p>9. 不等式</p> <p>10. 不等式の性質</p> <p>11. 1次不等式の解き方</p> <p>12. 連立不等式</p> <p>13. 不等式の利用</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 数を実数まで拡張することの意義を理解し、<math>\sqrt{\quad}</math>を含む計算ができる。また、分母の有理化ができる。数字の分類ができる。不等式で数量の計量を表すことができる。1次不等式や連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が有限小数や循環小数で表されることを理解し、問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりすることができる。不等式の性質と方程式の性質を対比して、不等式を解くことを考察できる。日常生活の事象などを数学的にとらえ、活用できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。</p>	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>第3章 2次関数</p> <p>第1節：2次関数とグラフ</p> <p>第2節：2次方程式と2次不等式</p> <p>【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフの関係について、コンピュータを用いてグラフを書くなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数を利用した数学的活動を通して、その有用性を認識すること。</p>	<p>・指導事項</p> <p>第1節：2次関数とグラフ</p> <p>1. 関数</p> <p>2. 関数とグラフ</p> <p>3. <math>y=ax^2</math> のグラフ</p> <p>4. <math>y=ax^2+q</math> のグラフ</p> <p>5. <math>y=a(x-p)^2</math> のグラフ</p> <p>6. <math>y=a(x-p)^2+q</math> のグラフ</p> <p>7. <math>y=ax^2+bx+c</math> のグラフ</p> <p>8. 2次関数の最大・最小</p> <p>9. 2次関数の決定</p> <p>第2節：2次方程式と2次不等式</p> <p>10. 2次方程式</p> <p>11. 2次関数のグラフとx軸の共有点</p> <p>12. 2次不等式</p> <p>13. 2次不等式の利用</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。2次関数のグラフから2次方程式の解を導くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、また、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>第2章 集合と命題</p> <p>1. 集合と部分集合</p> <p>2. 共通部分、和集合、補集合</p> <p>3. 命題と集合</p> <p>4. 命題と証明</p> <p>5章 データの分析</p> <p>1節 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 集合における基本的な概念を理解する。命題に関する基本的な概念を理解し、基本的な命題の証明ができるようにする。統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できること。</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察するとともに対偶を用いた証明もできるようにする。データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 集合で表されることを見つけ、積極的に活用を図る姿勢を作る。身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、考察した意見を述べるなどの数学的活動を通して、その有用性を認識</p>	<p>第2章 集合と命題</p> <p>1. 集合と部分集合</p> <p>2. 共通部分、和集合、補集合</p> <p>3. 命題と集合</p> <p>4. 命題と証明</p> <p>第5章</p> <p>1. データの整理</p> <p>2. データの代表地</p> <p>3. データの散らばり</p> <p>4. データの相関</p> <p>5. 相関係数</p> <p>6. 分割表</p> <p>・教材 教科書、問題集 プリント</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 集合に関する基本的な概念が理解できる。和集合・共通部分を求めることができる。命題における基本的な概念を理解し、必要十分について理解をする。命題の逆・対偶を理解できる。与えられたデータを適切に表すことができる。代表値・四分位範囲、分散といった用語を理解し求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 集合と命題の関係を考察できる。対偶などを利用して簡単な命題を証明することができる。データの散らばり具合を数値化することができる。具体的なデータを元に表を活用するなどして相関関係を求める方法を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象を集合を用いて表すことを理解しようとしている。身の回りの話題から、命題を考察して必要条件や十分条件を積極的に調べる。身の回りのいろいろなデータを探し、代表値や散らばりを調べてデータの分析をしようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
						合計	105

野津田 高等学校令和7年度（1学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

使用教科書：高等学校 新生物基礎（第一学習社）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の味方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標： 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。	生物や生物現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につける。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 生物の特徴</p> <p>1. 生物の共通性</p> <p>【知識及び技能】 多種多様な生物が生息し、生物は多様であることを理解する。 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。 顕微鏡の扱い方を習得する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 すべての生物にみられる特徴について説明する。 観察結果をレポートなどにまとめる。 観察結果をレポートなどにまとめ、他の人に説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 すべての生物のからだは細胞からなることを見出そうとする姿勢を持つ。</p> <p>2. 生物とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】 生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 代謝には同化と異化があり、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関与していることを理解する。 酵素の基本的な特徴を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 代謝とは何か説明する。 実験を通して酵素の特徴をとらえる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加する。 生命活動にはエネルギーが必要であることを積極的に読み取る。</p> <p>中間考査</p>	<p>第1章 生物の特徴</p> <p>1. 生物の共通性</p> <p>①生物にみられる共通性 実験 顕微鏡の使い方 ②生物の共通性の由来 ③細胞構造の共通性 実験 細胞の観察</p> <p>第2章 遺伝子とその働き</p> <p>①染色体・DNA・遺伝子 実験 DNAの抽出 ②DNAの複製 ③DNAの複製 実験 アルコール代謝の遺伝形質を調べる 教材 教科書、ワーク、プリント</p>	<p>【知識及び技能】 多種多様な生物が生息し、生物は多様であることを理解している。 ①生物にみられる共通性 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解している。 顕微鏡の正しい扱い方を習得している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 すべての生物にみられる特徴について説明できる。 観察結果をレポートなどにまとめられる。 観察結果をレポートなどにまとめ、他の人に説明できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 すべての生物のからだは細胞からなることを見出そうとする姿勢が見られる。</p>	○	○	○	6
<p>1学期</p>		<p>【知識及び技能】 生命活動にエネルギーが必要であることを理解している。 代謝には同化と異化があり、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関与していることを理解している。 酵素の基本的な特徴を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 代謝とは何か説明できる。 実験を通して酵素の特徴をとらえられる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加している。 生命活動にはエネルギーが必要であることを積極的に読み取ることができる。</p>	○	○	○	6
<p>第2章 遺伝子とその働き</p> <p>【知識及び技能】 遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 転写・翻訳の流れを理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 遺伝子とDNAと染色体の関係を説明する。 細胞分裂の各段階から核時期の特徴をあげる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加する。 遺伝子が自分の体内でどのように働いているか積極的に考える。</p> <p>期末考査</p>		<p>【知識及び技能】 遺伝子とDNAと染色体の関係について理解している。 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解している。 転写・翻訳の流れを理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 遺伝子とDNAと染色体の関係を説明できる。 細胞分裂の各段階から核時期の特徴をあげられる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に主体的に参加している。 遺伝子が自分の体内でどのように働いているか積極的に考えている。</p>	○	○	○	12
			○	○		1
			○	○		1







年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

使用教科書：現代高等保健体育（大修館書店）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活気ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	1. 現代社会と健康  【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。  【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする。  定期考査	指導項目・内容 (ア) 健康の考え方 (イ) 現代の感染症とその予防  使用教材 ・教科書、各種資料  ○ICT機器の活用、1人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる力を身に付けている。  【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする力を身に付けている。	○	○	○	10
				○	○	○	1
2 学 期	1. 現代社会と健康  【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。  【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする。  定期考査	指導項目・内容 (ウ) 生活習慣病の予防と回復 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康  使用教材 ・教科書、各種資料  ○ICT機器の活用、1人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる力を身に付けている。  【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする力を身に付けている。	○	○	○	13
							1
3 学 期	1. 現代社会と健康  【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。  【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする。  定期考査	指導項目・内容 (オ) 精神疾患の予防と回復  使用教材 ・教科書、各種資料  ○ICT機器の活用、1人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、一人一人が健康に関して深い認識をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる力を身に付けている。  【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとする力を身に付けている。	○	○	○	9
				○	○	○	1 合計 35

年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用）教科

保健体育 科目 スポーツ概論

教科：保健体育 科目：スポーツ概論

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 5組～ 組

使用教科書：基礎から学ぶスポーツ概論 改訂版

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツ概論 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	【指導項目】 ・スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展  【使用教材】 ・教科書、各種資料  ICT機器の活用、1人一台端末の活用		○	○	○	10
		定期考査	【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。	○	○	○	1
2 学期	【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。  【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。	【指導項目】 ・スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展 ・スポーツの効果的な学習の仕方  【使用教材】 ・教科書、各種資料  ICT機器の活用、1人一台端末の活用	【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。	○	○	○	13
		定期考査	【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	1
3 学期		【指導項目】 ・スポーツの効果的な学習の仕方  【使用教材】 ・教科書、各種資料  ICT機器の活用、1人一台端末の活用		○	○	○	9
		定期考査		○	○	○	1
				○	○	○	合計 35









年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 スポーツV

教科：保健体育 科目：スポーツV

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 5組～ 組

使用教科書：

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツV の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期							
2 学期							
3 学期	<p>【知識及び技能】 自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>	<p>指導項目・内容 競技型の野外出向への多様な関わり方 ・スキー</p> <p>※本科目は特期集中講座である。</p>	<p>【知識及び技能】 自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を身に付けている。</p>	○	○	○	<p>実習 3日間</p> <p>事前指導 30時間</p> <p>事後指導 16時間</p> <p>合計 70</p>



年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 スポーツ総合演習

教科： 保健体育

科目： スポーツ総合演習

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 5 組～ 組

使用教科書：

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツ総合演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	指導内容・項目 スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究  ・関心のあるスポーツの多様な発展や普及の歴史及び現状さらには文化的特性などを過去の文献から整理し、自らの考えをまとめる。	【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。	○	○	○	11
		【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。		○	○	○	14
2 学期	【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。	指導内容・項目 スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究  ・スポーツの局面に着目して、戦況の変化を導きだしたプレイや対戦相手の戦術の特徴などについて、記録データやビデオ等の映像から分析する。	【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けている。	○	○	○	14
		【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を身に付けている。		○	○	○	10
3 学期		指導内容・項目 スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究  ・関心のあるスポーツの過去の事故事例やスポーツ傷害の事例等から、その因果関係に着目し、健康・安全を確保するためのマニュアルや手順等を作成し、その運用を通して、具体的効果の結果をまとめる。		○	○	○	10
							合計
							35

年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： MOUSA I (教育芸術社)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当
1 学 期	○楽典 【知識及び技能】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢を養う。	○楽典 ・音符、音名について ・臨時記号、調号について	【知識及び技能】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、音名、臨時記号、調号について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。	○	○	○	5
	○歌唱 【知識及び技能】 伸びやかな発声で歌唱する 【思考力、判断力、表現力等】 曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に学ぼうとする姿勢を養う。	○歌唱 ・校歌	【知識及び技能】 実技テストにより伸びやかな発声で歌唱できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 実技テストにより曲調や歌詞を理解し歌唱表現ができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。	○	○	○	6
	○ギター 【知識及び技能】 コードネーム、TAB譜の学習とともにギターの基本奏法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 曲調に合わせて工夫しながら表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ギターに興味を持ち技術を向上させようという姿勢を養う。	○ギター ・歓喜の歌 ・第三の男のテーマ	【知識及び技能】 進度表により基本的なギターの演奏技術がついているか。 【思考力、判断力、表現力等】 進度表により演奏の工夫があるか。 【学びに向かう力、人間性等】 ギターに興味を持ち技術を向上させようという姿勢が見られるか。	○	○	○	8
	○鑑賞 【知識及び技能】 音楽を形作っている諸要素について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に観賞しようとする姿勢を養う。	○鑑賞 ・音楽を形作っている諸要素について学ぶ	【知識及び技能】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に観賞しようとする姿勢が見られるか。	○	○	○	3

<p>○楽典 【知識及び技能】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢を養う。</p> <p>○創作 【知識及び技能】 民謡音階の特徴を理解し、規定課題に沿って作品を作る。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマに沿った言葉選びで歌詞を完成させ、それに合わせたリズムを記す。 【学びに向かう力、人間性等】 創作に興味を持ち試行錯誤する姿勢を養う。</p> <p>○キーボード 【知識及び技能】 鍵盤の位置、楽譜を理解し簡単な楽曲を演奏できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 曲調に合わせて工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードに興味を持ち技術を向上させようという姿勢を養う。</p> <p>○鑑賞 【知識及び技能】 音楽を形作っている諸要素について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に鑑賞しようとする姿勢を養う。</p>	<p>○楽典 ・音符、音名について ・臨時記号、調号について</p> <p>○創作 ・民謡音階を用いた作曲 ・日本をテーマとした作詞</p> <p>○キーボード ・よるこびのうた ・こびとがひとり森の中で ・特賞歌 ・カッコウ ・5本指のエチュード ・いとまきのうた</p> <p>○鑑賞 ・音楽を形作っている諸要素について学ぶ</p>	<p>【知識及び技能】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、音名、臨時記号、調号について理解できているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワークブックや問題演習を通じ音符、休符、イタリア語音名、日本語音名、臨時記号、調号を表現に使うことができるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽の基礎知識を積極的に学ぼうとする姿勢が見られるか。</p> <p>【知識及び技能】 作品提出により規定課題に沿った内容で作詞作曲ができているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実作品提出によりテーマに沿った作詞とそれに合うリズムの記譜ができているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 創作に興味を持ち、よい作品を作り、正しく記譜をする技能を向上させようという姿勢が見られるか。</p> <p>【知識及び技能】 実技テストにより基本的なキーボードの演奏技術がついているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技テストにより演奏の工夫があるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 キーボードに興味を持ち技術を向上させようという姿勢が見られるか。</p> <p>【知識及び技能】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素について理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に鑑賞しようとする姿勢が見られるか。</p>	○	○	○	4
<p>○ハンドベル 【知識及び技能】 自分のパートの音名、リズムを理解し演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲調に合わせて工夫しながら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力し楽曲を完成させる。</p> <p>○おすすめ曲プレゼン 【知識及び技能】 鑑賞を通じて知覚した音楽を形作る要素を分析する。 【思考力、判断力、表現力等】 知覚した音楽の特徴を自身の言葉に置き換え、適切にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションでの伝え方を工夫し、音楽の魅力を伝えようとする姿勢を養う。</p> <p>○鑑賞 【知識及び技能】 音楽を形作っている諸要素について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に鑑賞しようとする姿勢を養う。</p>	<p>○ハンドベル ・6名程度のグループに分かれ、「星に願いを」を演奏する</p> <p>○生徒の選定による任意の曲 規定は授業内で扱うにふさわしいものとし、そのジャンルは問わない。</p> <p>○鑑賞 ・音楽を形作っている諸要素について学ぶ</p>	<p>【知識及び技能】 実技テストにより自分のパートの音名、リズムを理解し演奏しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実技テストにより曲調に合わせて表現の工夫をしているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力し楽曲を完成させようとする姿勢が見られるか。</p> <p>【知識及び技能】 プレゼン発表により音楽の特徴を捉え、言語化できているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 プレゼン発表によりスライドや構成が分かりやすいよう工夫できているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 制作過程から発表に至るまで、音楽の魅力を伝えようという姿勢が見られるか。</p> <p>【知識及び技能】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素について理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワークシートを通じ音楽を形作っている諸要素から楽曲について表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 楽曲に興味を持ち積極的に鑑賞しようとする姿勢が見られるか。</p>	○	○	○	10
3 学 期	○	○	○	○	○	7
○	○	○	○	○	○	3
合計						70

時数

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 2 組 ・ 3 組 ～ 4 組 ・ 5 組

使用教科書： 光村 美術 1

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 鉛筆の性質やタッチの付け方と効果について理解する 【思考・判断・表現】 光と影の関係について理解し、平面上で表せる 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組む姿勢を養う</p>	<p>■ 絵画：素描道具の使い方 ・素描道具の特性 ・刃物を使用した鉛筆の削り方、練り消しゴムの使用方法等 ・グラデーション表の作成 ・幾何形体のデッサン：陰影のつけ方の確認</p>	<p>【知識及び技能】 鉛筆の性質やタッチの付け方と効果について理解しているか 【思考・判断・表現】 光と影の関係について理解し、平面上で表せているか 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 形や色、質感などの表現を工夫し、創造的に表す 【思考・判断・表現】 主題を見つめ感じ取った特徴や思いをもとに、構図や道具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組む姿勢を養う</p>	<p>■ 絵画：体育館履き素描 ・指定の画用紙に鉛筆で体育館履きのデッサンを行う ・自分の作品のプレゼンテーションと他者作品の鑑賞</p>	<p>【知識及び技能】 形や色、質感などの表現を工夫し、創造的に表している 【思考・判断・表現】 構図や鉛筆の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に鉛筆を使った表現活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	12
<p>【知識及び技能】 色が感情にもたらす効果や、絵具の特性を理解して表現する。 【思考・判断・表現】 アクリル絵の具の特性や表現のよさ・美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的にアクリル絵の具ならではの効果を追求し、表現の創造的活動に取り組む姿勢を養う</p>	<p>■ デザイン：色についての学習 ・色相、彩度、明度について理解する ・アクリル絵の具を用いて、平塗りの練習、混色の練習、色相環の作成</p>	<p>【知識及び技能】 色が感情にもたらす効果や、絵具の特性を理解して表現できている 【思考・判断・表現】 アクリル絵の具の特性や表現のよさ・美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的にアクリル絵の具ならではの効果を追求し、表現の創造的活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6
<p>【知識及び技能】 写真の明暗をもとに、色彩の明度や彩度を考えて着彩し、全体のイメージで作品を捉えることを理解する 【思考・判断・表現】 形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に色彩分割作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造活動に取り組もうとしている</p>	<p>■ デザイン：色面分割 ・アクリル絵の具で、寒色と暖色のグラデーション表をそれぞれ作成する ・人物の写真にトレースする ・人物の顔写真をもとに、着彩する ・自分の作品のプレゼンテーションと他者作品の鑑賞</p>	<p>【知識及び技能】 写真の明暗をもとに、色彩の明度や彩度を考えて着彩し、全体のイメージで作品を捉えることを理解している 【思考・判断・表現】 形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に色彩分割作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	14

<p>【知識・技能】 作品を造形的な視点や文脈的な視点でとらえることを理解する 【思考・判断・表現】 作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その生涯や心情と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品の関係などについて考える鑑賞の創造活動に取り組む姿勢を養う</p>	<p>■絵画・彫刻鑑賞：鑑賞の仕方 ・鑑賞の方法について、どのように造形的な視点や文脈的な視点でみるのか学ぶ ・上記を踏まえて、比較鑑賞や対話を通じた鑑賞を行う</p>	<p>【知識・技能】 作品を造形的な視点や文脈的な視点でとらえることを理解している 【思考・判断・表現】 作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、その生涯や心情と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、その生涯や心情と作品の関係などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	2
<p>【知識・技能】 伝えたい情報を整理し、印象に残るシンボルマークをデザインする 【思考・判断・表現】 単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練る 【学びに向かう力・人間性】 主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組む態度を養う</p>	<p>■デザイン：ステッカー制作 ・自分のイニシヤルをもとに図案を考えアイデアスケッチを行う ・個人端末を使用し、アイデアスケッチをもとにステッカーを制作する</p>	<p>【知識・技能】 伝えたい情報を整理し、印象に残るシンボルマークをデザインできているか 【思考・判断・表現】 単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っているか 【学びに向かう力・人間性】 主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8
<p>【知識・技能】 道具を正しく使い、材料や造形的な特徴などを生かして作品を制作する 【思考・判断・表現】 意図に応じて材料や用具の特性を生かし工夫して、創造的にレリーフ制作を行っている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に制作を通して感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組む態度を養う</p>	<p>■彫刻：木彫サインボード制作 ・木彫の道具や素材について確認し、設計図を作る ・木材の切断・彫刻・やすりがけ・塗装 ・自分の作品のプレゼンテーションと他者作品の鑑賞</p>	<p>【知識・技能】 道具を正しく使い、材料や造形的な特徴などを生かして作品を制作しているか 【思考・判断・表現】 意図に応じて材料や用具の特性を生かし工夫して、創造的にレリーフ制作を行っているか 【学びに向かう力・人間性】 主体的に制作を通して感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	16
<p>【知識・技能】 映像技法の効果や特徴などをもとに、映像作品を全体のイメージや作風などで捉えることを理解する 【思考・判断・表現】 映像作品を細部まで鑑賞し、表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品を細部まで鑑賞し、映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組む態度を養う</p>	<p>■映像メディア鑑賞：映像・アニメーション ・映像制作方法や技法による印象の違いやアニメーションならではの表現を理解する。 ・作品をみて絵コンテを描き起こしながら細部まで鑑賞し、形や色、構図や技法などをもとに表現の意図や工夫を感じ取る</p>	<p>【知識・技能】 映像技法の効果や特徴などをもとに、映像作品を全体のイメージや作風などで捉えることを理解している 【思考・判断・表現】 映像作品を細部まで鑑賞し、表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている 【学びに向かう力・人間性】 主体的に作品を細部まで鑑賞し、映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6
合計						70

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： 書道 I （東京書籍）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現や形式、多様性などについて幅広く知り、書の技法を身に付け、書写能力の向上を図る。同時に書の歴史を知り、自己表現のための基礎的な考え方や技能を身に付ける。	書に対する考えを深め、自己が対象物に対して感じる印象を言語化し、書之美を主体的に味わう。また自己の創作意図に沿って構想と表現を工夫し制作に取り組む。	臨書や創作などの書の幅広い活動に取り組みながら、筆記具で文字を書くことを楽しみ味わい、生涯を通じて書を愛好する心情を育む。書文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創り出す手助けを行う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学期</p> <p>単元①《書道入門》 【知識及び技能】 正しく整えて書く書写から、自己表現、芸術科としての書道の位置付けを生徒に理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国語科書写で培った基礎的な用筆、結構などを再確認し、生徒が一人一人目的に応じて書体（楷書、行書）の選択を行い、節節に表現できる力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 硬筆の学習を通じて、小中学校国語科書写において養った基礎を発展させる。芸術の書としてだけでなく、日常生活において必要な実用的な側面についても指導していく。</p> <p>単元②《楷書の学習》 【知識及び技能】 小中学校で行った国語科書写の復習を通じて、基本的な運筆を確認する。臨書の学習方法を知り、書風を意識しながら臨書する。また同時に古典が書かれた背景を理解し、当時の書文化についての知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「九成宮醜泉銘」と「孔子廟堂碑」、「雁塔聖教序」と「建中告身帖」の比較・臨書を通じて書風の違いを認識し、書き分ける眼と技術を養う。九成宮の厳しい背勢の構え、孔子廟の温雅さ、雁塔の抑揚、建中の肉太きなどを体験的に味わい、その特徴を毛筆で追体験する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な楷書の書風を知ること、身の回りの文字に興味を持ち、書風の違いが与える印象の違いを理解しようとする。また古典の書者について知ること、生きる時代は違えど当時の社会生活から書が</p>	<p>○書写と書道の違い →芸術科書道と国語科書写の目的の違い</p> <p>○筆墨硯紙について →文房四宝の理解 筆墨硯紙の歴史 色々な現物を見て体験的に学ぶ 筆…大筆、小筆、毛の種類 墨…油煙、松煙、和墨、唐墨 硯…端溪など中国産、雄勝など国産のもの 紙…画仙紙、料紙など</p> <p>○硬筆で楷書を書く →硬筆の持ち方、姿勢など</p> <p>教材：筆墨硯紙、書道 I 硬筆ノート</p> <p>○基本点画 →縦画、横画、点、ハネ、ハライなど</p> <p>《初唐三大家の臨書》 ○「九成宮醜泉銘」</p> <p>○「孔子廟堂碑」 ○「雁塔聖教序」 ○「建中告身帖」 ○「牛橛造像記」 ○拓本実習</p> <p>教材：筆墨硯紙、書道 I 拓本道具</p>	<p>【知識・技能】 書写と書道の視点の違いを理解できたか。また、文房四宝についての基礎的な知識を理解できたか。実用的な基礎である、硬筆の書き方を修得できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ノートを取る際、正式な書類を書く際など、それぞれの場面に応じて適切な書体を選択し書写することができたか。また、国語科書写で学んだことを活かして丁寧な書写活動を行うことができたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリントなど積極的な取り組みを通じて、書写と書道の違いを自分なりに考え、芸術科書道における目標を認識できているか。</p> <p>【知識・技能】 毛筆を持つ際の基本姿勢、筆の持ち方を習得できたか。古典・書風とは何かを理解できたか。臨書学習における書の学び方を知り理解できたか。「九成宮」「孔子廟」「雁塔」「建中」「牛橛」の書風とその特徴を理解し、再現できたかどうか。</p> <p>【思考・判断・表現】 「九成宮」「孔子廟」「雁塔」「建中」「牛橛」の古典について、それぞれの用筆や結構の特徴を自分なりに工夫し、臨書活動を通じて表現できたかどうか。当時においてなぜそのような古典が生まれたのか、古典が生まれた背景を理解しようとして取り組んでいるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な楷書の書風を知ること、身の回りの文字に興味を持ち、書風の違いが与える印象の違いを理解しようとしているか。また授業中の板書など、必要事項をノートに記入しているかどうか。</p>	○	○	○	6
			○	○	○	24

<p>単元③《行書の学習》</p> <p>【知識及び技能】 書の歴史の中で「書聖」といわれる王羲之の書に触れながら、当時の時代背景と共に、なぜ書聖と呼ばれるのか、行書が生まれるに至った経緯と共に理解していく。また半切サイズに8文字書くことにより、大きい紙に書くバランスと集中力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国語科書写で学んだ行書の基礎力を基に、点画の繋がりと省略、線の太細、柔らかさなど行書の特徴を理解し表現する。中国の王羲之とそれを学んだ空海の行書の書風の違いを観察しを通して理解し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書は普段使いにおいても常日頃より活用する書体であり、速書きに適している。生徒が時と場合に応じて主体的に書体を選択し学びを実生活に活かせるように指導する。また実用の面だけでなく、心の動きや情緒を表現しやすい行書の芸術表現を享受する。</p> <p>単元④《刻字の学習》</p> <p>【知識及び技能】 文字を表記する上で、書くこと他には刻る(削る)ことがあり、例えば殷周時代の甲骨文字のように、文字を書くことと刻すことは古代より相互に関りあっていた。刻字学習を通じて、書く以外の文字を記す方法を実際に彫刻刀をもって体験的に学習する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分自身で選んだ好きな漢字をどのように工夫し、自分の意図に沿った表現を試みる。また、今まで学んだ楷書と行書の書体・書風を参考に生かして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 刻字はボードに刻しているの、表具などしなくてもそのまま家に飾ることができる。書を愛好する心情を育てる上で、自分の好きな文字を、自分好みに書き、刻すことで、ものづくりとして、書を楽しむ、日常に取り入れていく。</p> <p>単元⑤《細字の学習》</p> <p>【知識・技能】 隋代の代表的な古典である美人董氏墓誌銘の臨書を通じて、小字楷書の基礎的な力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 唐代の楷書古典とは少し違う、少し扁平の結構をした隋の古典の書風の特徴を考察し捉えて適切に表現する。前学期で学習した楷書の基礎を踏まえて基本となる点画を表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 細字は実生活で使う文字の大きさに近い、この授業を通して学ばれた書写能力を日々の硬筆に生かしていく。</p>	<p>○王羲之「蘭亭序」 半切2分の1に書く</p> <p>○空海「風信帖」</p> <p>教材：筆墨硯紙 書道Ⅰ</p> <p>○刻字について</p> <p>○刻字の歴史</p> <p>○刻字制作</p> <p>教材：筆墨硯紙 書道Ⅰ アクリル絵具</p> <p>○美人董氏墓誌銘</p> <p>教材 筆墨硯紙 小筆</p>	<p>【知識・技能】 行書という書体を完成させた王羲之の蘭亭序の書風の特徴を理解し、再現できているか。さらにそこから発展した空海の風信帖は八面出鋒で筆をねじり、つき、かえる等、様々な筆の機能を引き出そうと工夫し、多面的に筆を用いながら書けているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 普段使わない大きい紙に配置を考えて書けたか。また最後まで一貫した作品に仕上がったか。王羲之と空海、それぞれ異なる書風の特徴を自分なりに観察し、表現できているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 行書は普段使いにおいても常日頃より活用する書体であり、速書きに適しているため、生徒が時と場合に応じて主体的に書体を選択し学んだ技法を実生活に活かしているかどうか。</p> <p>【知識・技能】 刻字の歴史と表現を知り、文字を刻ることと書くことの関係性を理解しているか。今まで学んできた古典の様々な書風や書体を活かしているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 筆で書いた下書きに合わせ、実際に刻る過程の中でかすれや墨溜まり、粗細の変化など工夫して取り組んでいるか。また自分の制作意図にそって色や刻り方に工夫しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 臨書は呼吸に例えると息を吸う作業であり、創作は吐く作業である。学び得たものをどのように使い、自分のものとして発散していくか、楽しみながら積極的に取り組んでいるかどうか。</p> <p>【知識・技能】 隋代の書の歴史を理解し、その代表的な古典である美人董氏墓誌銘の書風を把握できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】 隋代墓誌銘の特徴を捉え、いつもとは違う文字の大きさに適応し表現できたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 御祝いの封筒や芳名など、筆で細字を書く機会は日常に多く存在する。小楷の技法を積極的に学び取り、日々のノートなどの字に反映しているかどうか。また点画の部分練習など自ら工夫して練習しているかどうか。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>8</p> <p>10</p> <p>6</p>
---	---	--	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------------

3 学 期	<p>単元⑥《仮名の学習》</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 日本固有の仮名文字の成り立ちを理解する。また、「いろは歌」や変体仮名の学習を通じて、仮名の書き方を習得する。蓬萊切や高野切の臨書学習を通して、平安の和歌文化を理解する。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 細線・曲線を基調とした仮名文字を書の特徴を理解し表現する。また和歌と仮名文字の関係について考察し、書とかかれた言葉との関係性の理解に努める。連綿や変体仮名を用いた古筆の書をよく観察し表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 書は書のみならず、文学や美術とも深いかわりがあることから、国語科古典における和歌文学との教科横断的な授業を行い、芸術的側面のみならず当時の平安時代の文化の一翼であったことを紹介し、書と社会とのかかわりの認知を促す。</p>	<p>○仮名の成り立ち ○いろは歌 ○変体仮名 ○蓬萊切 ○高野切第三種</p> <p>教材：筆墨硯紙 書道 I 料紙</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 日本固有の仮名文字の成り立ちを理解しているか。また、「いろは歌」や変体仮名、古筆の学習を通じて、仮名の書き方を習得しているか。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 細線や曲線、連綿や変体仮名を用いた仮名文字の書の特徴を理解し表現しているか。また和歌と仮名文字の関係について考察し、書とかかれた言葉との関係性の理解に努めているか。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 仮名の連綿などの部分練習を工夫して取り組み、細い線が主体の仮名文字を表現しようと工夫しているかどうか。</p>	○	○	○	18
	合計						

野津田 高等学校令和7年度(1学年用) 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科: 英語 科目: 英語コミュニケーションⅠ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 5 組

使用教科書: All Aboard! English Communication I

教科 英語 の目標:

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識・技能】 be動詞、一般動詞、過去形の特徴やきまりなどを理解する。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとする。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Pre-Lesson1 My Name is Ito Neko. be動詞</li> <li>Pre-Lesson2 I Like Junk Food! 一般動詞</li> <li>Lesson1 Breakfast around the World 過去形</li> </ul> <p>○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末</p> <p>○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物</p>	<p>【知識・技能】 be動詞、一般動詞、過去形の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
<p>【知識・技能】 進行形、助動詞、to不定詞の特徴やきまりなどを理解する。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとする。</p>	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson2 Australia's Cute Quokkas 進行形</li> <li>Lesson3 A Train Driver in Sanriku 助動詞</li> <li>Lesson4 A Miracle Mirror to不定詞</li> </ul> <p>○教材 教科書、問題集、プリント、ノート、スマスク端末</p> <p>○指導や評価の方法 小テスト、パフォーマンステスト、問題集等の提出物</p>	<p>【知識・技能】 進行形、助動詞、to不定詞の特徴やきまりなどを理解している。コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて話された文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的などに応じて、日常的な話題などについて、情報や考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>	○	○	○	21
定期考査			○	○		1



年間授業計画

野津田 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 英語 科目 論理表現 I

教科：英語 科目：論理表現 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 3 組

使用教科書：MY WAY

教科 英語

の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社旗的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

科目 論理表現 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本的な語句や文を理解し、日常的话题などについて意見を述べたり、賛成反対の意見を根拠を示しながら伝え合うことができる。	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように、事例や根拠を示しながら説明することができる。また社会的な話題について背景知識を活用しながら自分の考えを述べたり相手の考えを引き出したりすることができる。	自分の意見を相手によりよく理解してもらえるように様々な表現を用いるなどの工夫をして伝え合おうとしている。また、相手の意見に応じて自分の考えを示しながらよりよいやり取りになるよう努めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
Lesson 1 自己紹介 Part1 初対面のあいさつ Part2 自己紹介のスピーチ Lesson 2 学校生活 Part1 好きだった教科  【知識及び技能】 be動詞・一般動詞を使い分けすることができる。現在・過去形を使った表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の発言に合わせ相槌を打つ、事実と意見を織り交ぜて話す、疑問詞を使って尋ねる、会話のきっかけを作るなどの表現を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を相手に伝えたり、相手の言いたいことを確かめながら聞いたりすることでよりよいやり取りになるよう工夫する。	・指導事項 Lesson 1 一般動詞・be動詞 Lesson 2 過去の状態や動作の表現  ・教材 教科書・ワークブック・補充プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 現在・過去形を使って身近な話題について英語でやり取りできる。 【思考・判断・表現】 相手の発言に合わせ相槌を打つ、事実と意見を織り交ぜて話す、疑問詞を使って尋ねる、会話のきっかけを作るなどして英語でやり取りができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見を相手に伝えたり、相手の言いたいことを確かめながら聞いたりすることでよりよいやり取りになるよう工夫して英語でやり取りできる。	○	○	○	13
1 学期 定期考査			○	○		1
Lesson 2 学校生活 Part2 部活動を紹介する Lesson 3 アートの世界 Part1 週末の予定 Part2 好きな絵について Lesson4 グルメ Part1 料理を注文する Part2 日本の食文化を紹介  【知識及び技能】 未来の表し方や完了形を使った表現を身に着ける。進行形・完了形の表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 謝罪や相手の具合を尋ねる、聞き返すなどの表現を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 相手の発言内容を確認したり聞き返したりしながらよりよいやり取りになるよう工夫する。	・指導事項 Lesson2現在進行形・過去進行形 Lesson3 未来表現 Lesson4 現在完了形  ・教材 教科書・ワークブック・補充プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 基本的な時制を使い分けることができる。進行形や完了形を使って日々の生活のことについて英語でやり取りできる。 【思考・判断・表現】 謝罪や相手の具合を尋ねる、聞き返すなどして相手の意見や発言に応じて英語でやり取りができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 相手の発言内容を確認したり聞き返したりしながらよりよいやり取りになるよう工夫して英語でやり取りできる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1



高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組  
 教科担当者： (1組： 北村 ) (2組： 北村 ) (3組： 北村 ) (4組： 北村 ) (5組： 北村 )  
 使用教科書： ( 新編 情報 I (東京書籍) )

教科 情報 の目標：  
 【知識及び技能】 情報に関する科学的な見方・考え方を理解する。  
 【思考力、判断力、表現力等】 情報技術を効果的に活用して問題の発見・解決に学習活動を行う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切かつ効果的に活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に使用する。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 情報とメディアの特性 【知識及び技能】 情報の特性から、情報とは何か理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各メディアのメリット、デメリットを判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報やメディアの特性を理解する。	・指導事項 情報の特性から、情報とは何か理解する。 さまざまなメディアの特性を理解する。 ・教材 教科書、問題プリント	【知識・技能】 情報の特性から、情報とは何か理解できる。 情報やメディアの特性を理解できる。 【思考・判断・表現】 各メディアのメリット、デメリットが判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報やメディアの特性を理解しようとしている。	○	○	○	4
	B 情報モラルと個人情報の流出 【知識及び技能】 情報に関する法規や制度、個人情報流出する仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 SNS等で加害者・被害者にならないように情報モラルに配慮して情報を発信する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルを身につける	・指導事項 情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 SNS等の不適切な使い方による問題を理解する。 ・教材 教科書、問題プリント	【知識・技能】 情報に関する放棄や制度、個人情報流出する仕組みを理解できる。 【思考・判断・表現】 SNS等で加害者・被害者にならないための対応が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報モラルを適切に身につけ、個人情報を適切に扱おうとしている。	○	○	○	4
	C 文書処理ソフトウェアの操作 【知識及び技能】 文書処理ソフトウェアの基本操作を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 文書処理ソフトウェアの操作の考えから、さまざまな処理の方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に意欲的に取り組む。	・指導事項 文書処理ソフトウェアについて、書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。 文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を学習する。 ・教材 課題プリント、コンピュータ室のパソコン	【知識・技能】 文書処理ソフトウェアの基本操作が身についている。 【思考・判断・表現】 文書処理ソフトウェアの操作の考えから、さまざまな処理の方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習に意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	D 情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインのも苦的、抽象化、可視化、構造化の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に意欲的に取り組む。	・指導事項 情報デザインとは何か学習する。 文書処理ソフトウェアを活用して、情報デザインの考え方を基に文書を作成する。 ・教材 課題プリント、コンピュータ室のパソコン	【知識・技能】 情報デザインのも苦的、抽象化、可視化、構造化の方法を理解できる。 【思考・判断・表現】 情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習に意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 情報技術の発展 【知識及び技能】 情報技術による社会・生活の変化や健康への影響などの「影」の部分理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 SNS等で加害者・被害者にならないように情報モラルに配慮して情報を発信する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルを身につける。	・指導事項 画像処理や電子取引などの新しい情報技術や情報化による健康への影響などの問題について学習する。 ・教材 教科書、問題プリント	【知識・技能】 情報技術による社会・生活の変化や健康への影響などの「影」の部分理解できる。 【思考・判断・表現】 電子マネーと現金のメリットとデメリットを考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの情報技術の活用場面を知ろうとしている。	○	○	○	5
	B デジタルの世界 【知識及び技能】 2進法、10進法、16進法の仕組みやデジタルの表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 デジタルとアナログの違い、メリット・デメリットを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報のデジタル性について考える。	・指導事項 2進法と情報の単位、音、画像、動画のデジタル化について学習する。 ・教材 教科書、問題プリント	【知識・技能】 2進法、10進法、16進法の仕組みやデジタルの表現方法が理解できる。 【思考・判断・表現】 デジタルとアナログの違い、メリット・デメリットを考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報のデジタル性について考えようとしている。	○	○	○	9
	C ネットワークとインターネット 【知識及び技能】 インターネットとはどのようなものか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ドメインと名とメールアドレス、URLの関係を判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネットワークの仕組みについて興味を持つ。	・指導事項 IPアドレスとDNSの役割、WWW、電子メールの仕組みなどについて学習する。 ・教材 教科書、問題プリント	【知識・技能】 インターネットとはどのようなものか理解できる。 【思考・判断・表現】 ドメインと名とメールアドレス、URLの関係を判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットワークの仕組みについて興味を持つようとしている。	○	○	○	6
	D 表計算ソフトウェアの操作 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアの基本操作を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 数式や関数を用いているいろいろな処理方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に意欲的に取り組む。	・指導事項 表計算ソフトウェアの基本的な操作を学習する。 数式や関数の利用を学習する。 ・教材 教科書、問題プリント	【知識及び技能】 表計算ソフトウェアの基本操作が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトウェアの数式や関数を用いているいろいろな処理方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に意欲的に取り組むことができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A コンピュータとは何か 【知識及び技能】 コンピュータの基本構成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りにあるコンピュータが死品入っている製品について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの仕組みに興味を持つ。	・指導事項 コンピュータの基本構成について理解する。 プログラムの動作の仕組みについて理解する。 ・教材 教科書、問題プリント	【知識及び技能】 コンピュータの基本構成を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りにあるコンピュータの入っている製品について、その仕組みも含めて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの仕組みに興味を持つことができる。	○	○	○	7
	B アルゴリズムの表現 【知識及び技能】 プログラムとアルゴリズムの関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強くプログラムを作成する。	・指導事項 プログラムの作り方や制御構造について学習する。 ・教材 課題プリント、コンピュータ室のパソコン	【知識及び技能】 プログラムとアルゴリズムの関係を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強くプログラムを作成しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	合計						70